

学術研究活動支援事業(大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業)

- 浜通り地域等には大学等の高等教育機関が少ない中、震災後、県外から様々な大学が活動中。
- 福島イノベーション・コースト構想を推進する上でも、大学が自治体や企業、高校などと連携していくことが重要。
- 全国の大学等が有する本県復興に資する知を、浜通り地域等に誘導・集積するため、イノベ機構では、浜通り地域で教育研究活動を行う大学等を支援する取組(補助事業)を今年度から新たに実施(37件、6億円を超える公募有)し、**20件、約1億4千万円**を採択決定。〈各市町村と協定を締結し、拠点を置くことが採択要件〉
- 8/6にいわきで「第2回福島復興学ワークショップ」を実施**し、採択となった取組を発表予定。

浜通り地域等で研究活動等を行っている主な県外大学の例



近畿大学 × 川俣町 <“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト>
 ・「オール近大川俣町復興支援プロジェクト」を立ち上げ、①除染廃棄物の輸送問題解決への提案、②放射線量測定、③農作物の試験栽培等を実施。
 ・平成29年5月に町と連携協定を締結。

東京大学 × 飯舘村 <飯舘村における農業再生と風評被害払拭のための教育研究プログラム>
 ・NPO法人ふくしま再生の会とともに、①農業支援、②放射線量の情報提供、③農地土壌調査、④牧畜再生支援を実施。
 ・ICTを利用して遠隔農地の営農を支援するシステムの開発を実施。
 ・平成30年3月に村と連携協定を締結。

東北大学 × 葛尾村 <東北大学の復興知を活かす葛尾村の創造的復興>
 ・ICTを利用した農業の実証試験を実施。
 ・平成28年10月に村と連携協定を締結。村内に「東北復興農学センター葛尾村分室」を設置。

早稲田大学 × 広野町 <早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事業>
 ・平成29年5月に「ふくしま広野未来創造リサーチセンター」を開所。持続可能な地域再生のあり方を地元とともに検討。
 ・地域住民等と研究者が交流して地域の未来を考える「ふくしま学(楽)会」を企画。

慶應義塾大学 × 田村市 <ドローン人材育成から始まる地域産業の活性化～たむらモデルの高度化・普及事業～>
 ・ドローンを活用した研究・教育活動の推進およびその活用による産業振興に取り組む。
 ・平成28年12月に市と連携協定を締結し、船引高校においてドローン特別講座を開講。
 ・ドローンによるアグリセンシングの実証試験を実施。